

衛研第2-44号  
平成30年 1月31日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
5. 全国及び関東情報
6. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 平成30年第4週（平成30年1月2日～平成30年1月28日）

## 今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、レジオネラ症2人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、急性脳炎4人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症5人、梅毒5人、百日咳4人の届出があった。

定点把握対象疾患では、インフルエンザ(61.63 65.41：図 1-4)の定点当たり報告数は、前週よりさらに増加し多い状況が続いている。保健所別では、草加(84.53)、幸手(84.14)、越谷市(80.08)保健所の順に多く、東松山(43.25 60.63)、鴻巣(59.26 69.47)、本庄(30.29 40.43)保健所では定点当たり報告数が前週より大きく増加した。年齢階級別では、5-9歳が36.5%、10-14歳が19.0%、0-4歳が16.2%を占めた。第1～4週の4週間(1月1日～1月28日)に採取されたインフルエンザ検体からは、B型(山形系統)が78検体(53.8%)、AH3型が34検体(23.4%)、AH1pdm09型が33検体(22.8%)検出された。また、今年に入りAH3型の検出数が増加している。基幹定点報告対象疾患であるインフルエンザ(入院)(16人 38人 50人)の報告数は2週連続で大きく増加した。年齢階級別では、70歳以上が33人で最も多く、全体の66.0%を占めた。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.40 2.96)の定点当たり報告数は前週よりわずかに減少したが、春日部(8.50)、川口(7.65)保健所管内では多い状況が続いている。

眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎24人の報告があった。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし(結核を除く)

三類感染症 報告なし

四類感染症 レジオネラ症 2人(病型 肺炎型2人)

五類感染症 アメーバ赤痢 1人(病型 腸管アメーバ症)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人(菌種 *Enterobacter* sp. 1人)急性脳炎 4人(病原体 インフルエンザウイルスA 3人、  
インフルエンザウイルスB 1人)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人(血清群 A群)

侵襲性肺炎球菌感染症 5人

梅毒 5人(病型 早期顕症 期2人、早期顕症 期1人、  
無症状病原体保有者2人)

百日咳 4人

1 この情報に関する御質問・御意見等ございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

# インフルエンザ流行情報（第4週） —小児科定点・内科定点からの報告—

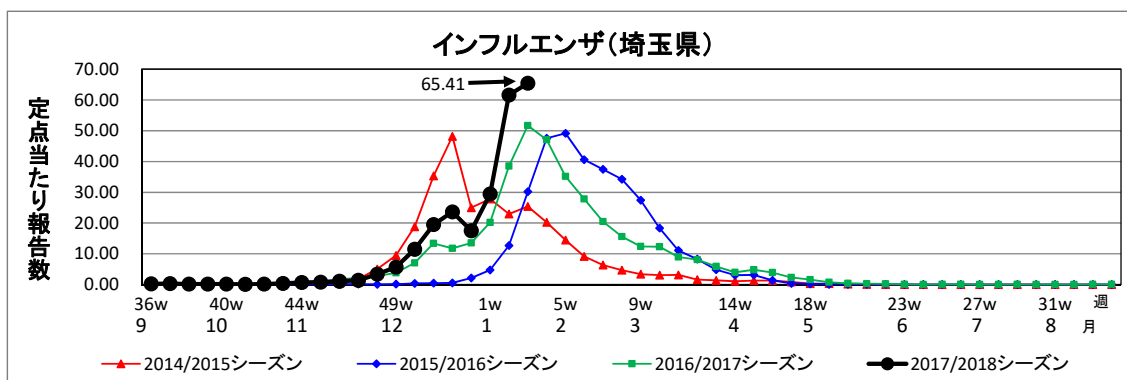


図1 定点当たり報告数の推移

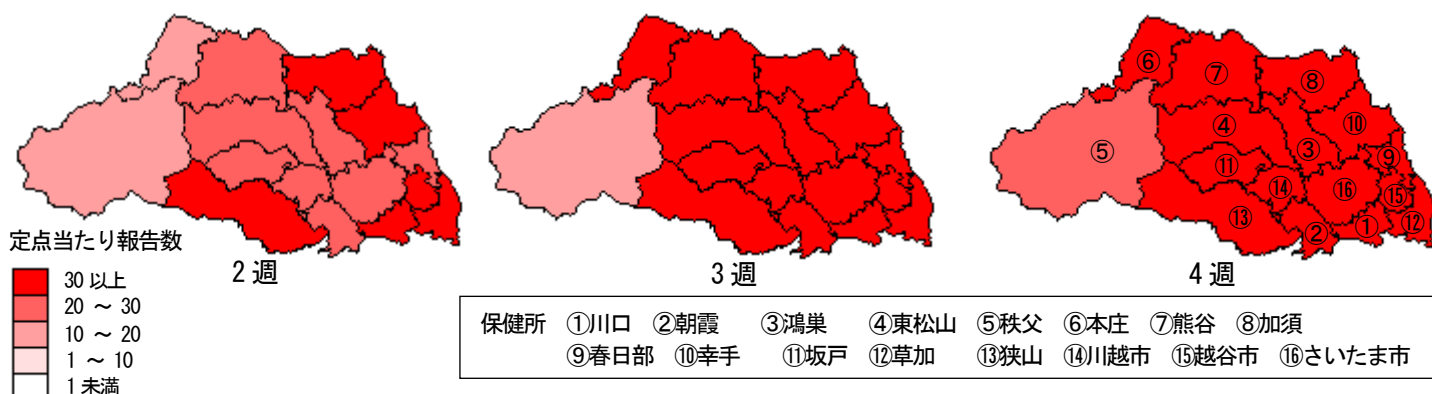


図2 流行の推移 (2018年2週~2018年4週)

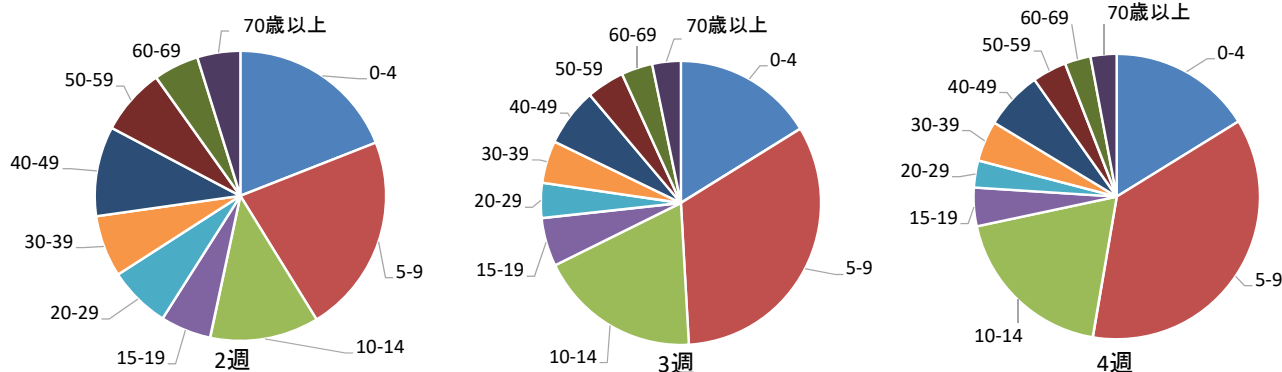
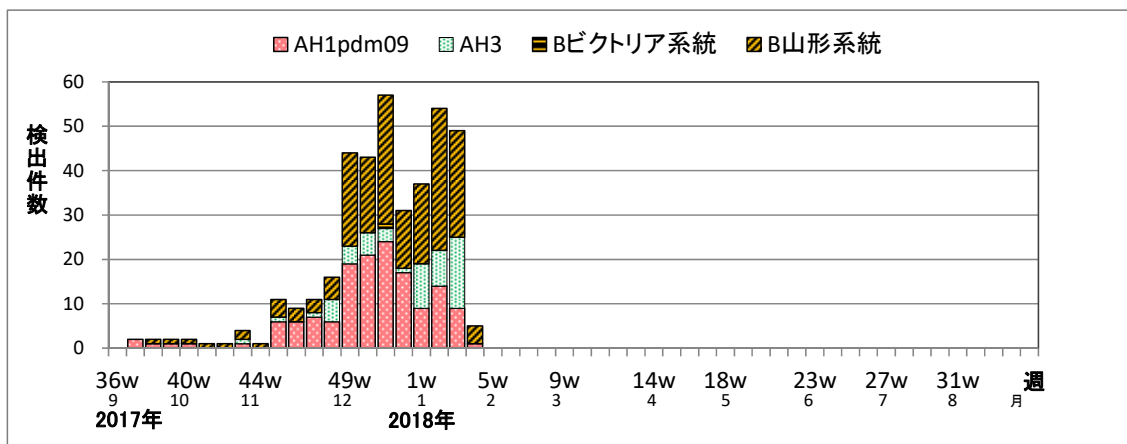


図3 各週における報告患者の年齢(割合)



AH3とB山形系統の重複検出(2検体)を含む

図4 AH1pdm09、AH3、B(ビクトリア系統、山形系統)の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第4週)

(2018年1月30日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2017年 累計		今週 届出	累 計	2017年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1280	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ		1		腸チフス		1	3
細菌性赤痢			7	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		3	246				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎		1	19	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			12	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病			1	ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			1
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	2	5	99
つつが虫病	1		2	レプトスピラ症			2
デング熱			12	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	1	5	53	水痘*			12
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			11	先天性風しん症候群			
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	4	57	梅毒	5	14	232
急性脳炎	4	10	45	播種性クリプトコックス症		1	3
クリプトスポリジウム症				破傷風			2
クロイツフェルト・ヤコブ病			4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	21	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			12
後天性免疫不全症候群		1	34	百日咳	4	9	-
ジアルジア症				風しん			6
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	20	麻しん			5
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	8
侵襲性肺炎球菌感染症	5	17	131				
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘\*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計				

累計は診断日で集計  
\*2017年累計は暫定値です。  
\*結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 保健所別 (第4週 平成30年1月22日～平成30年1月28日)

保健所	報告患者数										保健所別			平成30年1月22日～平成30年1月28日						
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (口ウイルス)	インフルエンザ (入院)
全	16,745	53	33	480	852	66	12	27	50	1	9	1	24	-	-	-	-	-	-	50
県	65.41	0.33	0.20	2.96	5.26	0.41	0.07	0.17	0.31	0.01	0.06	0.02	0.59	-	-	-	-	-	-	5.00
川	1,810	8	11	130	164	11	1	15	5	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-
朝	69.62	0.47	0.65	7.65	9.65	0.65	0.06	0.88	0.29	-	0.06	-	2.20	-	-	-	-	-	-	-
朝	1,321	5	1	57	64	2	2	2	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	9
朝	60.05	0.36	0.07	4.07	4.57	0.14	0.14	0.14	0.21	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	9.00
鴻	1,320	-	1	14	51	5	2	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鴻	69.47	-	0.08	1.17	4.25	0.42	0.17	-	0.25	-	0.08	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東	485	-	-	7	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山	60.63	-	-	1.40	5.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩	108	-	-	11	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
秩	21.60	-	-	3.67	1.00	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.00
本	283	1	-	5	1	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	40.43	0.25	-	1.25	0.25	0.25	-	-	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	1,013	3	2	30	89	4	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊	72.36	0.33	0.22	3.33	9.89	0.44	0.11	-	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
加	647	2	2	-	9	3	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加	64.70	0.33	0.33	-	1.50	0.50	0.17	0.17	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春	681	1	1	51	51	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春	68.10	0.17	0.17	8.50	8.50	-	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	1,178	11	3	24	27	5	1	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
幸	84.14	1.22	0.33	2.67	3.00	0.56	0.11	0.11	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
坂	501	4	-	4	34	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
坂	50.10	0.67	-	0.67	5.67	0.50	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00
草	1,606	1	3	17	41	1	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草	84.53	0.08	0.25	1.42	3.42	0.08	0.08	0.08	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
狭	1,661	7	2	32	76	9	-	3	5	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	3
狭	66.44	0.44	0.13	2.00	4.75	0.56	-	0.19	0.31	-	0.06	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	3.00
川	756	-	-	14	25	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川	58.15	-	-	1.75	3.13	0.75	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越	1,041	3	3	30	12	1	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
越	80.08	0.38	0.38	3.75	1.50	0.13	-	0.13	0.38	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
さい	2,334	7	4	54	179	13	3	-	14	1	3	-	8	-	-	-	-	-	-	20
さい	56.93	0.26	0.15	2.00	6.63	0.48	0.11	-	0.52	0.04	0.11	-	1.00	-	-	-	-	-	-	20.00

( - : 0.00 ) # 1 インフルエンザを除く # 2 真菌性を含む # 3 オウム病を除く

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第4週 平成30年1月22日～平成30年1月28日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	16,745	38	126	380	484	688	992	1,183	1,309	1,386	1,214	1,022	3,178	729	511	770	1,103	648	490	332	162
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	53	5	13	18	10	2	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	33	-	2	6	5	4	6	5	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	480	-	-	9	12	29	65	61	63	77	40	35	58	9	22						
感染性胃腸炎	852	5	36	90	79	79	76	68	41	54	40	35	101	29	119						
水痘	66	1	1	2	3	3	3	8	11	18	4	3	9	-	-						
手足口病	12	-	-	6	1	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-						
伝染性紅斑	27	-	-	-	1	3	5	4	5	2	1	1	4	-	1						
突発性発しん	50	-	16	30	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	1	1	2	2	-	1	1	-	1	-	-						
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	24	-	-	2	1	2	2	-	-	-	-	-	1	1	4	5	3	3	-	-	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	50	1	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	33				

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第2週 (1月8日～1月14日)

平成30年1月31日

## ＜全国情報＞

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(52.83)、福岡県(41.58)、大分県(41.21)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,688例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(50例)、1～9歳(290例)、10代(51例)、20代(23例)、30代(29例)、40代(57例)、50代(74例)、60代(185例)、70代(310例)、80歳以上(619例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** RSウイルス感染症の報告数は1,413例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.66)、新潟県(0.88)、石川県(0.76)、鹿児島県(0.76)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.68)、山形県(3.70)、福井県(3.41)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(14.25)、宮崎県(8.22)、福井県(7.91)である。水痘の定点当たり報告数は第51週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(0.72)、石川県(0.72)、福岡県(0.64)、鹿児島県(0.62)である。手足口病の定点当たり報告数は第50週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(0.80)、長崎県(0.68)、福井県(0.59)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(0.52)、神奈川県(0.40)、山形県(0.27)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(1.05)、鹿児島県(1.04)、宮崎県(0.75)である。

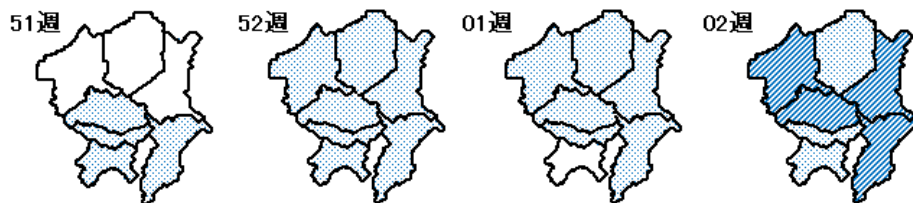
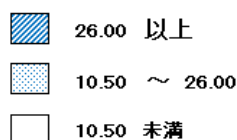
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(2.25)、富山県(1.00)、愛媛県(0.83)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。13都道府県から23例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(13例)、5～9歳(6例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2018年 第2週(1月8日～1月14日): 通巻第20巻 第2号 より

## ＜関東情報＞

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(30.15)、千葉県(29.54)、埼玉県(29.46)、群馬県(26.25)からの報告が多い。

### インフルエンザ



平成30年 02週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	130,682	39,172	3,618	1,690	2,310	7,570	6,292	9,456	8,236
	定点当たり	26.44	25.89	30.15	22.24	26.25	29.46	29.54	22.84	23.87
RSウイルス感染症	報告数	1,413	260	35	18	20	54	43	51	39
	定点当たり	0.45	0.27	0.47	0.38	0.37	0.33	0.32	0.20	0.18
咽頭結膜熱	報告数	1,039	279	22	14	40	54	34	72	43
	定点当たり	0.33	0.29	0.29	0.29	0.74	0.33	0.25	0.28	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,938	1,908	198	48	122	387	338	486	329
	定点当たり	1.88	2.01	2.64	1.00	2.26	2.37	2.52	1.86	1.53
感染性胃腸炎	報告数	16,688	5,477	296	155	302	1,065	747	1,676	1,236
	定点当たり	5.29	5.77	3.95	3.23	5.59	6.53	5.57	6.42	5.75
水痘	報告数	1,204	379	25	20	26	64	36	110	98
	定点当たり	0.38	0.40	0.33	0.42	0.48	0.39	0.27	0.42	0.46
手足口病	報告数	520	96	7	4	14	11	13	26	21
	定点当たり	0.16	0.10	0.09	0.08	0.26	0.07	0.10	0.10	0.10
伝染性紅斑	報告数	267	186	3	25	4	29	6	33	86
	定点当たり	0.08	0.20	0.04	0.52	0.07	0.18	0.04	0.13	0.40
突発性発しん	報告数	1,149	356	14	20	20	66	41	119	76
	定点当たり	0.36	0.37	0.19	0.42	0.37	0.40	0.31	0.46	0.35
ヘルパンギーナ	報告数	53	11	-	1	1	1	2	3	3
	定点当たり	0.02	0.01	-	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	686	137	16	4	18	19	20	18	42
	定点当たり	0.22	0.14	0.21	0.08	0.33	0.12	0.15	0.07	0.20
急性出血性結膜炎	報告数	9	3	-	-	-	2	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	568	244	30	7	23	33	23	26	102
	定点当たり	0.82	1.18	1.76	0.58	1.53	0.83	0.66	0.68	2.08
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	16	4	2	-	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.03	0.05	0.15	-	-	-	0.11	-	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	114	14	6	2	2	4	-	-	-
	定点当たり	0.24	0.17	0.46	0.29	0.22	0.40	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	3	-	-	-	1	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.04	-	-	-	0.10	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	23	5	-	-	2	-	-	3	-
	定点当たり	0.05	0.06	-	-	0.22	-	-	0.12	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



**感染症発生動向調査 2018年**

- [感染症の流行状況 2018年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第3週](#)

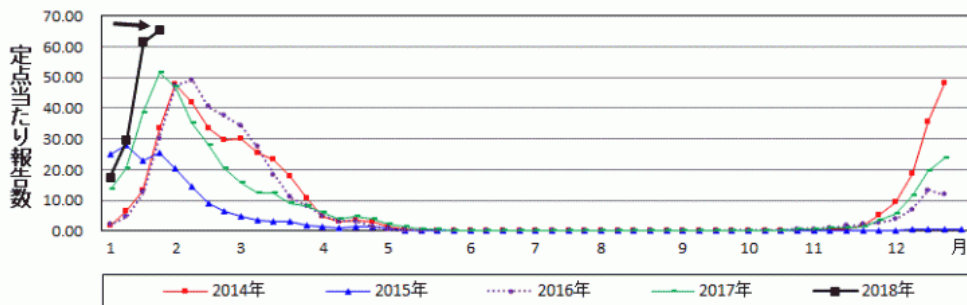
**感染症の流行状況 2018年 第4週**

2018年第4週（平成30年1月22日～1月28日）の要点 平成30年1月31日

**インフルエンザ**の定点当たり報告数は、前週より増加し多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★★★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	↓	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン